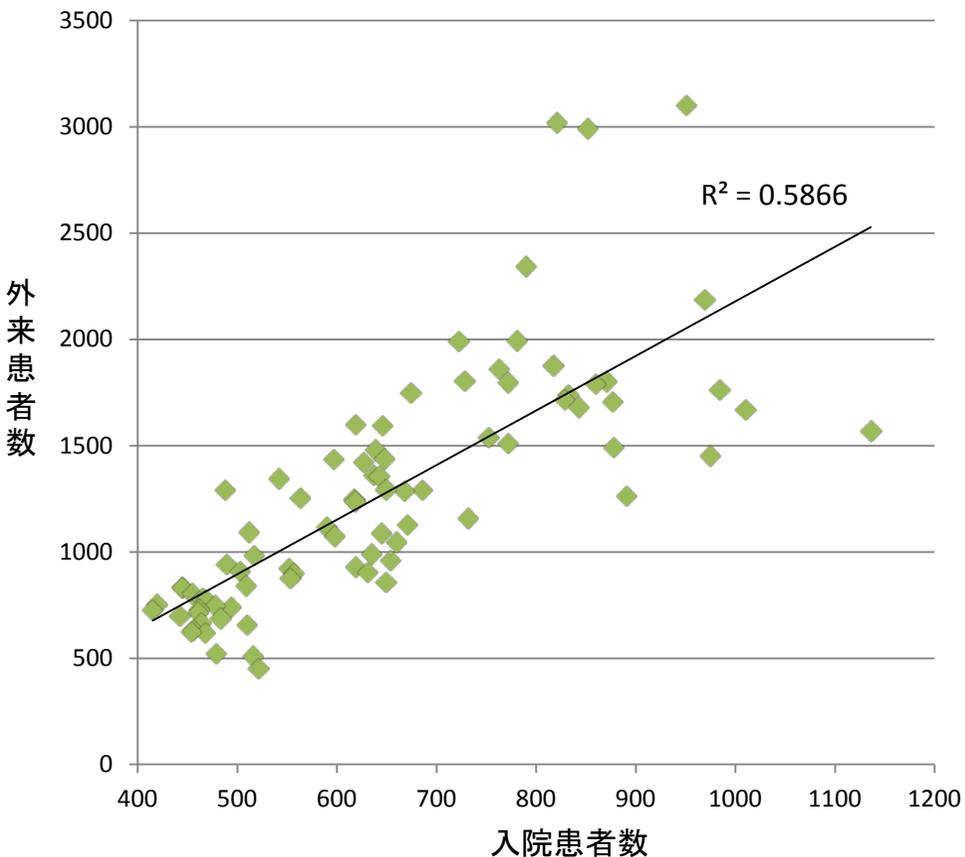


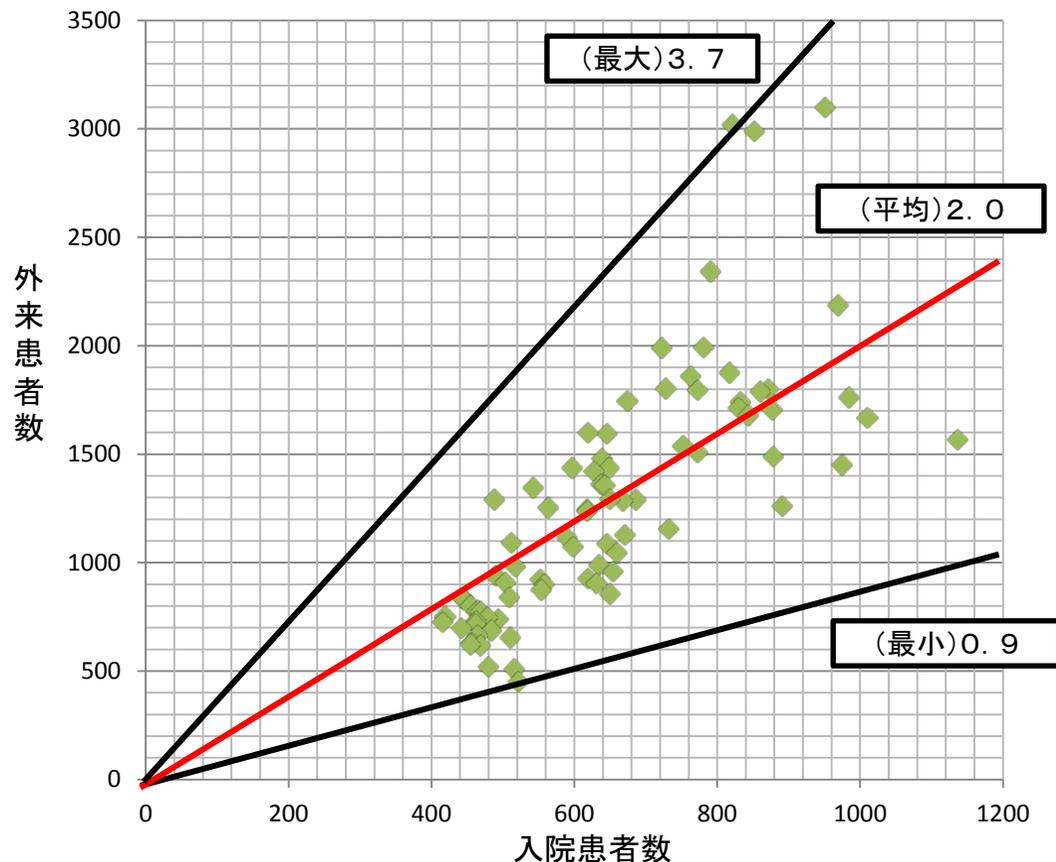
特定機能病院の患者数①

- 一般病院の1日平均在院患者数は1,084,190人、1日平均外来患者数は1,377,346人、入院患者に対する外来患者の比率は1.3。特定機能病院(平成20年の調査時点で82病院)の1日平均在院患者数(一般病床に限る。)は53,113人、1日平均外来患者数は104,507人、入院患者に対する外来患者の比率は2.0となっている。
- 特定機能病院について病院ごとに入院患者に対する外来患者の比率をみると、1倍程度から4倍弱まで分布。

〔相関〕

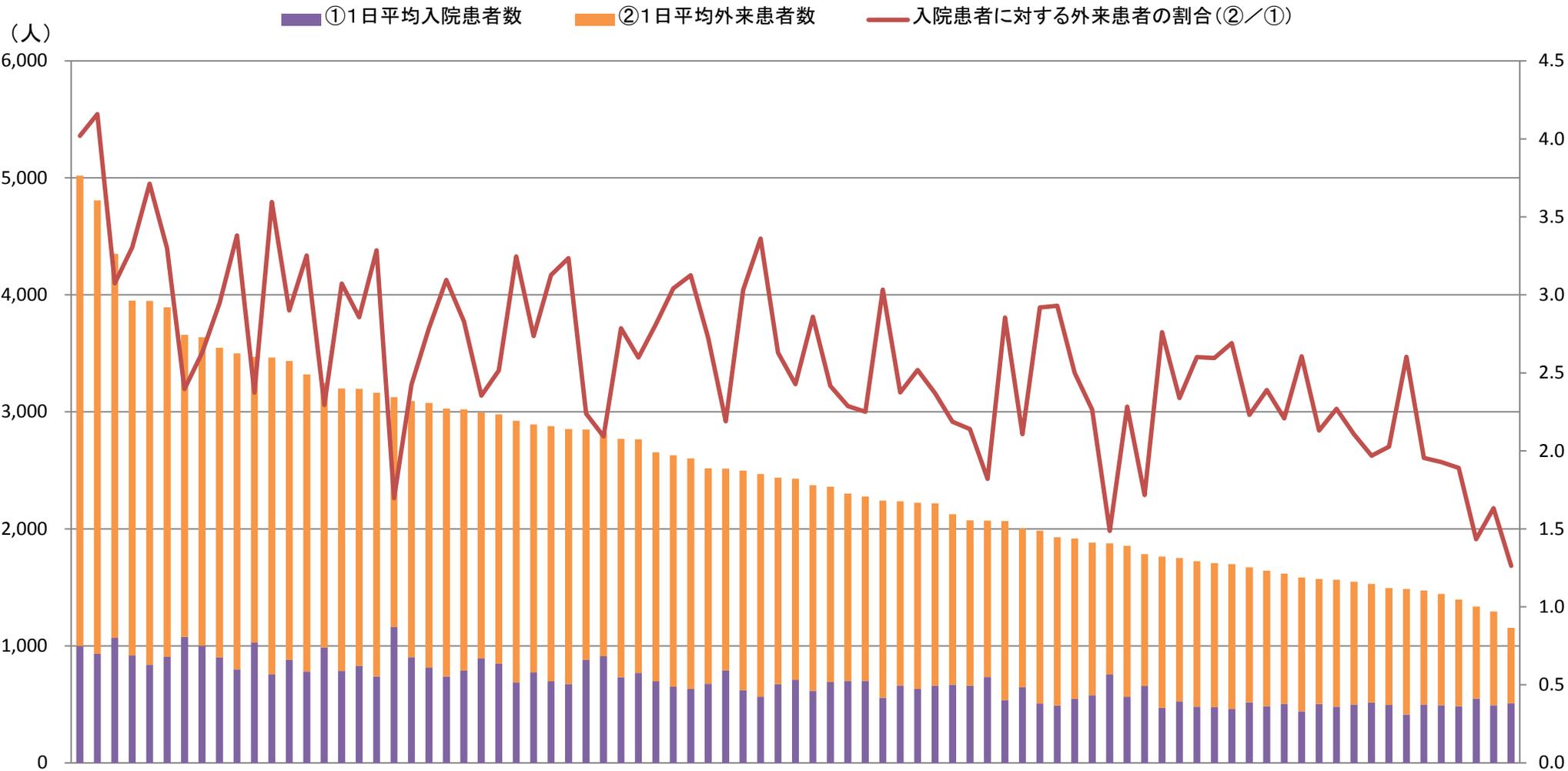


〔入院患者に対する外来患者の割合〕



特定機能病院の患者数②

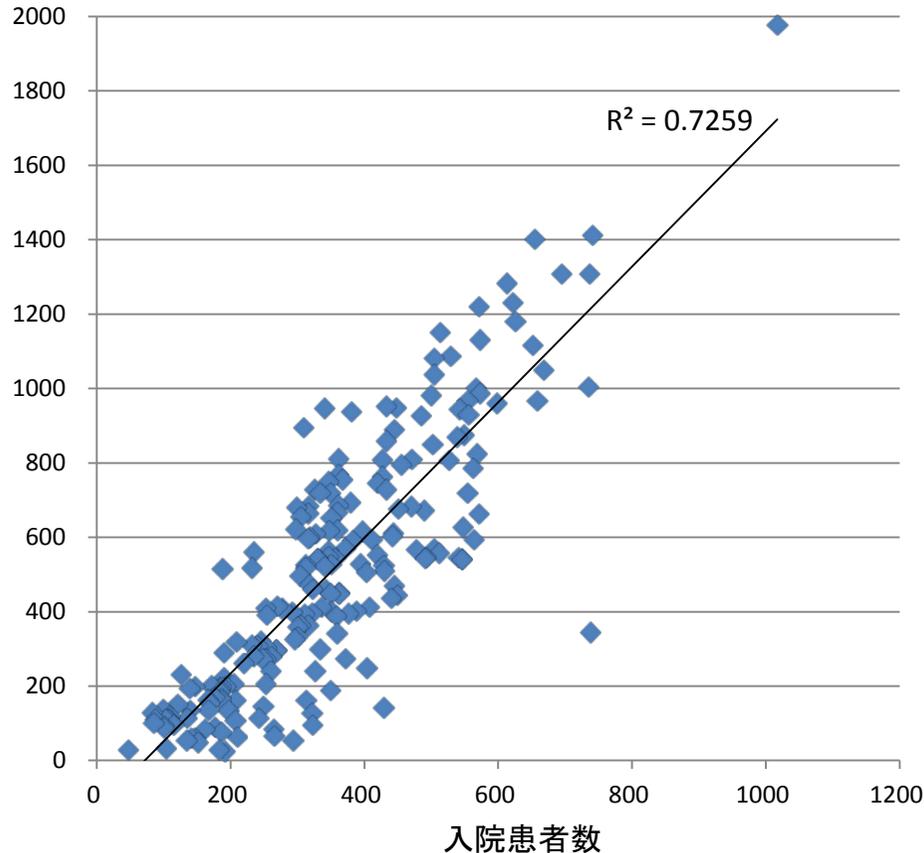
- 一般病院の1日平均在院患者数は1,081,228人、1日平均外来患者数は1,377,346人、入院患者に対する外来患者の割合は1.3。
- 特定機能病院(83病院)の1日平均在院患者数の平均は、690.6人、1日平均外来患者数の平均は1813.7人、入院患者に対する外来患者の割合は2.6となっている。
- 特定機能病院について病院ごとに1日平均外来患者数をみると、650人程度の病院から4,000人程度の病院まで分布。



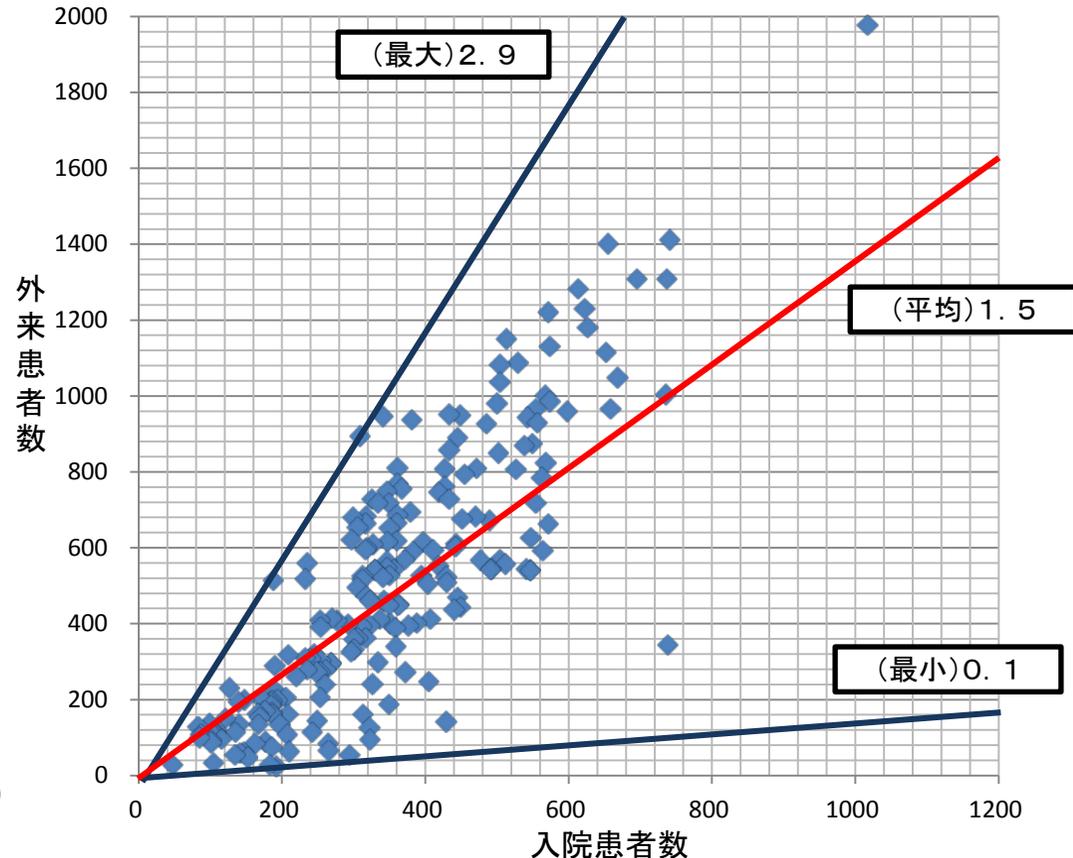
地域医療支援病院の患者数①

- 一般病院の1日平均在院患者数は1,084,190人、1日平均外来患者数は1,377,346人、入院患者に対する外来患者の比率は1.3。地域医療支援病院(208病院※)の1日平均在院患者数(一般病床に限る。)は73,045人、1日平均外来患者数は106,052人、入院患者に対する外来患者の比率は1.5倍となっている。
- 地域医療支援病院について病院ごとに入院患者に対する外来患者の比率をみると、0.1倍から3倍弱まで分布。

〔相関〕



〔入院患者に対する外来患者の割合〕

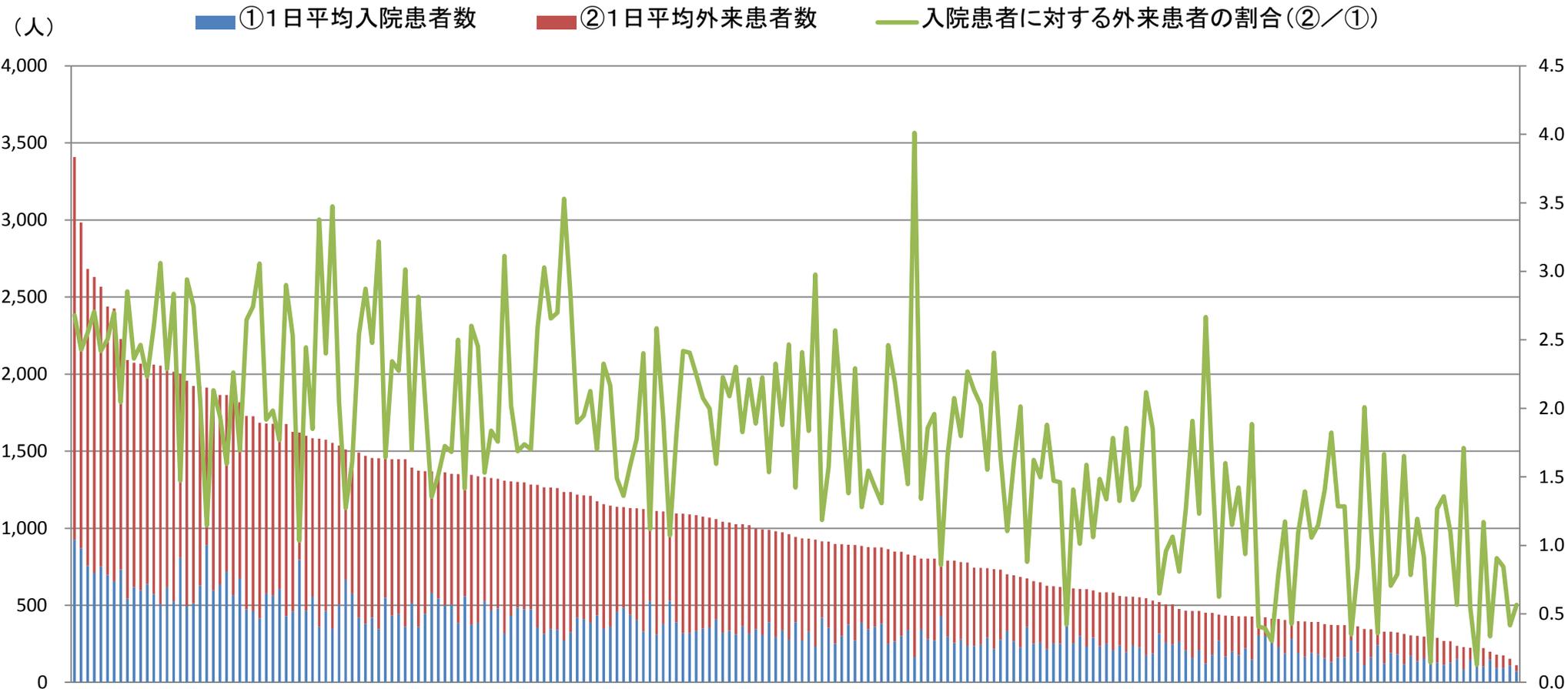


※平成20年の年間を通じて一般病床のある病院を対象として集計し、患者数等の数値を把握できた期間が1年に満たない施設は含まれない。
また、患者調査との関連集計を行ったデータを基にしているため、すべての地域医療支援病院が含まれるわけではない。

平成20年病院報告に基づき作成

地域医療支援病院の患者数②

- 一般病院の1日平均在院患者数は1,081,228人、1日平均外来患者数は1,377,346人、入院患者に対する外来患者の比率は1.3。
- 地域医療支援病院(※1)について、1日平均入院患者数の平均は355.7人、1日平均外来患者数の平均は672.5人、入院患者に対する外来患者の割合は1.9となっている。
- 地域医療支援病院について病院ごとに1日平均外来患者数をみると、25人程度の病院から2,500人程度の病院まで分布。



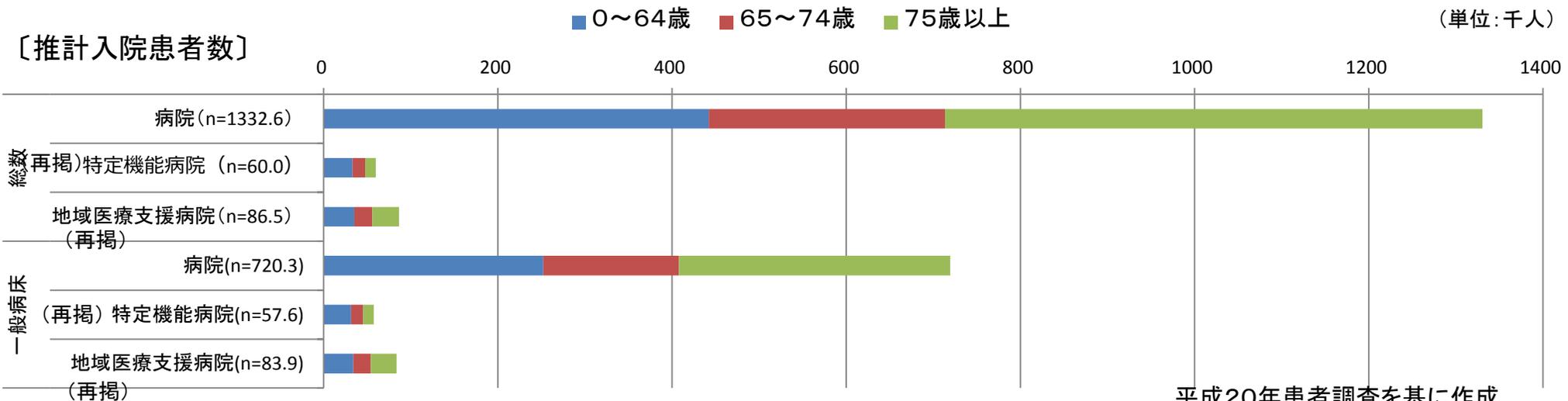
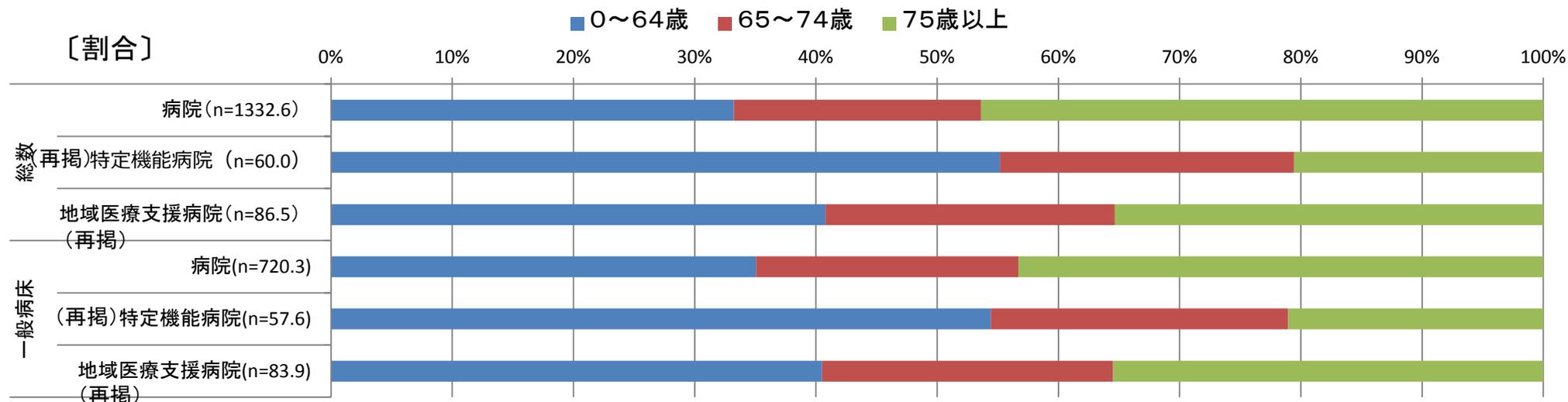
※1 1日平均入院患者数と1日平均外来患者数のいずれについても報告のあった219病院について集計。

※2 平成21年の実績

各都道府県に対する報告に基づき作成

病院類型ごとにみた入院患者の年齢階級（構成割合と推計入院患者数）

○病院の入院患者は1332.6千人、特定機能病院の入院患者は60.0千人、地域医療支援病院の入院患者は86.5千人。
 ○一般病床における入院患者の年齢階級をみると、病院については0～64歳が約35.1%、65～74歳が約21.6%、75歳以上が43.3%。特定機能病院については、0～64歳が54.4%、65～74歳が約24.5%、75歳以上が43.3%。地域医療支援病院については、0～64歳が40.5%、65～74歳が24.0%、75歳以上が35.5%。

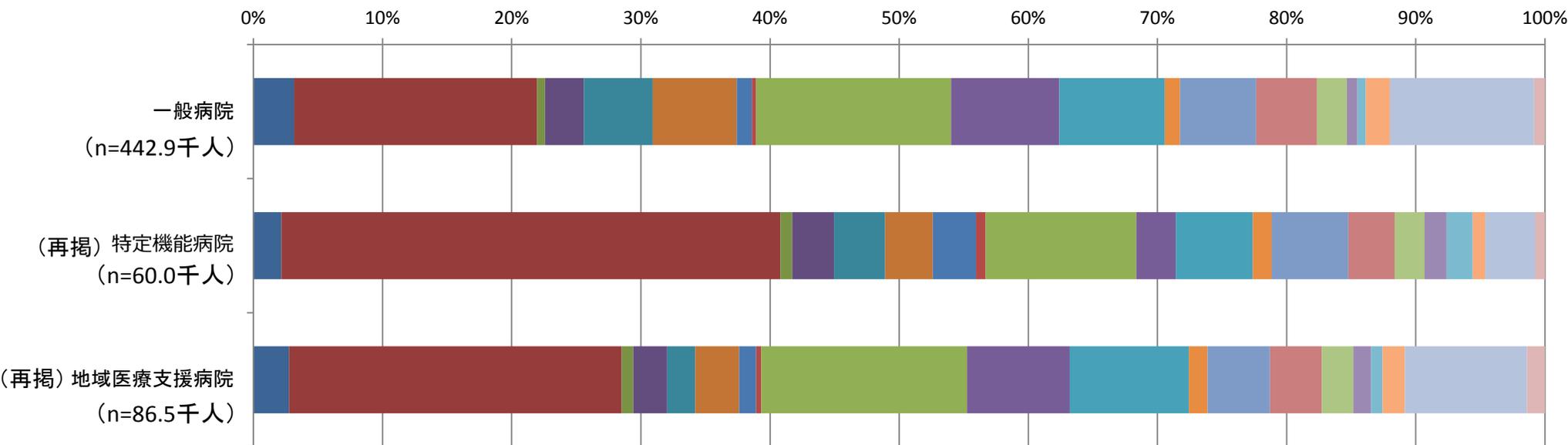


病院類型ごとにみた入院患者の傷病構成(割合)

～ 一般病院・特定機能病院・地域医療支援病院の比較 ～

○ 調査日における一般病院の推計入院患者(442.9千人)を疾病分類別にみると、「新生物」が83.3千人、「循環器系の疾患」が66.8千人、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が49.5千人の順に多くなっている。

○ 特定機能病院についてみると、「新生物」が40%程度で一般病院の2倍程度となっており、地域医療支援病院についても、「新生物」の割合が大きくなっている。

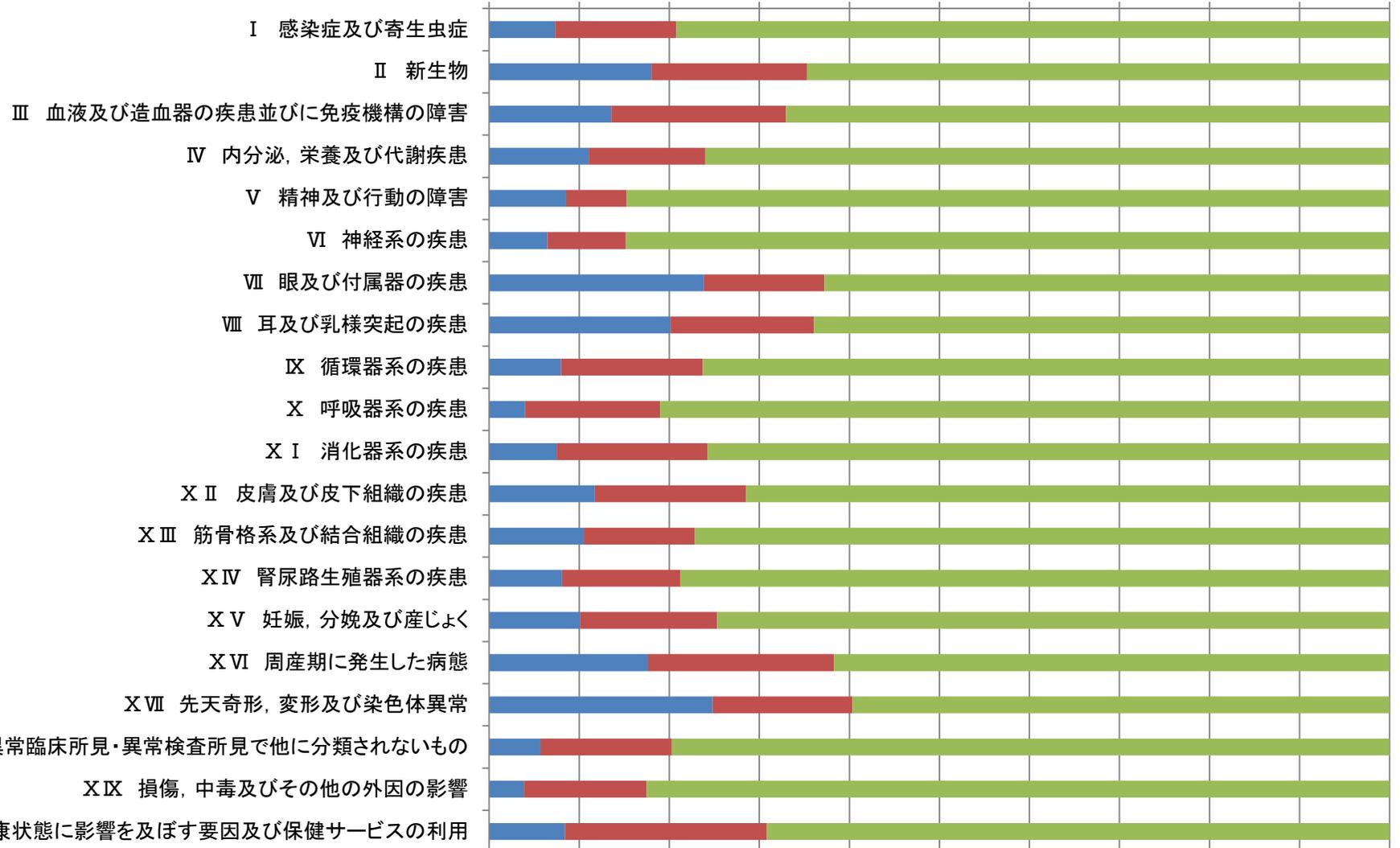


傷病分類ごとにみた入院患者の受診状況(割合)

～ 一般病院・特定機能病院・地域医療支援病院の比較 ～

■ 特定機能病院 ■ 地域医療支援病院 ■ 一般病院(特定機能病院、地域医療支援病院を除く)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



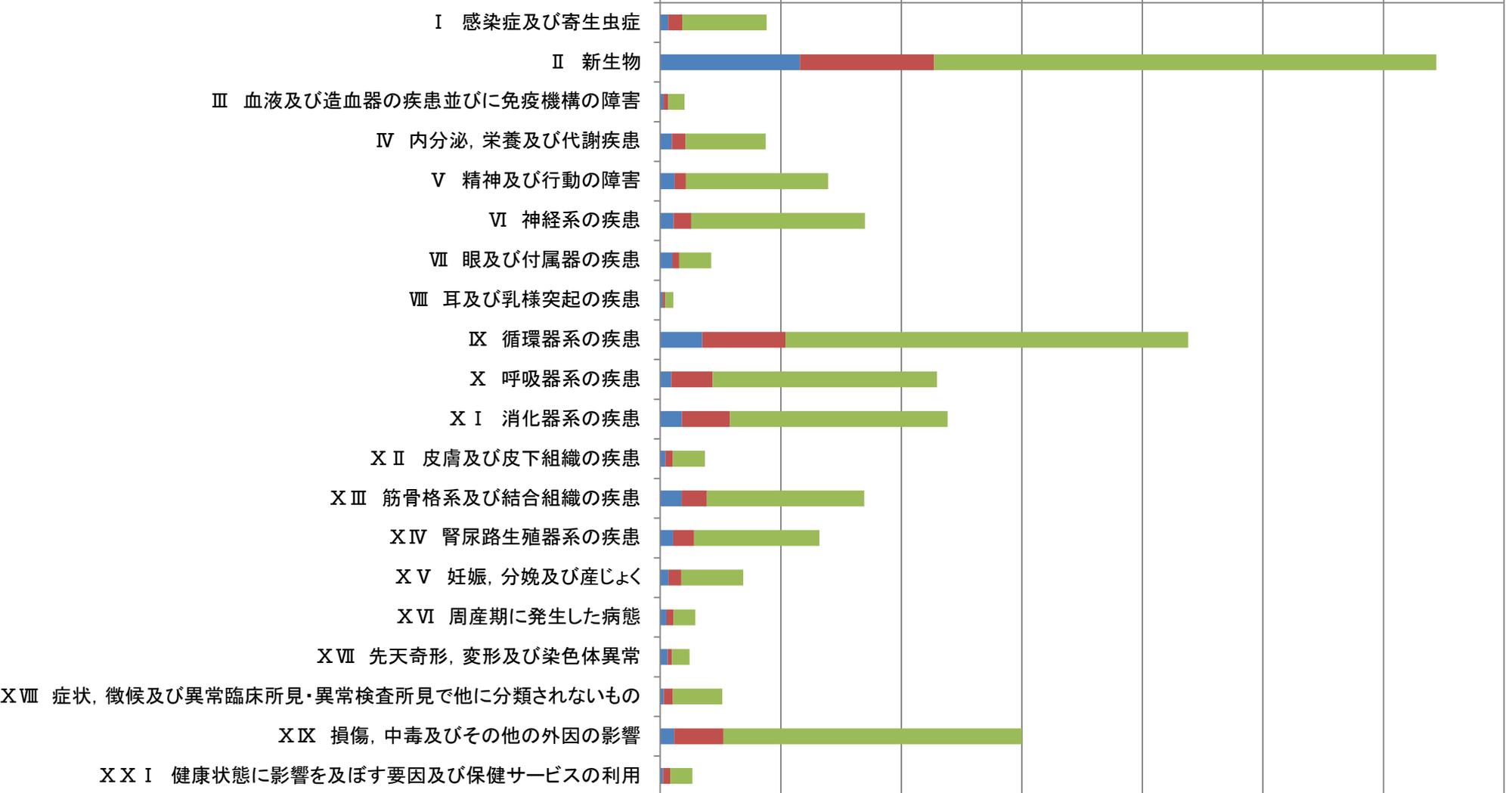
傷病分類ごとにみた入院患者の受診状況(推計入院患者数)

～ 一般病院・特定機能病院・地域医療支援病院の比較 ～

(単位:千人)

■ 特定機能病院 ■ 地域医療支援病院 ■ 一般病院(特定機能病院、地域医療支援病院を除く)

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 120.0 140.0



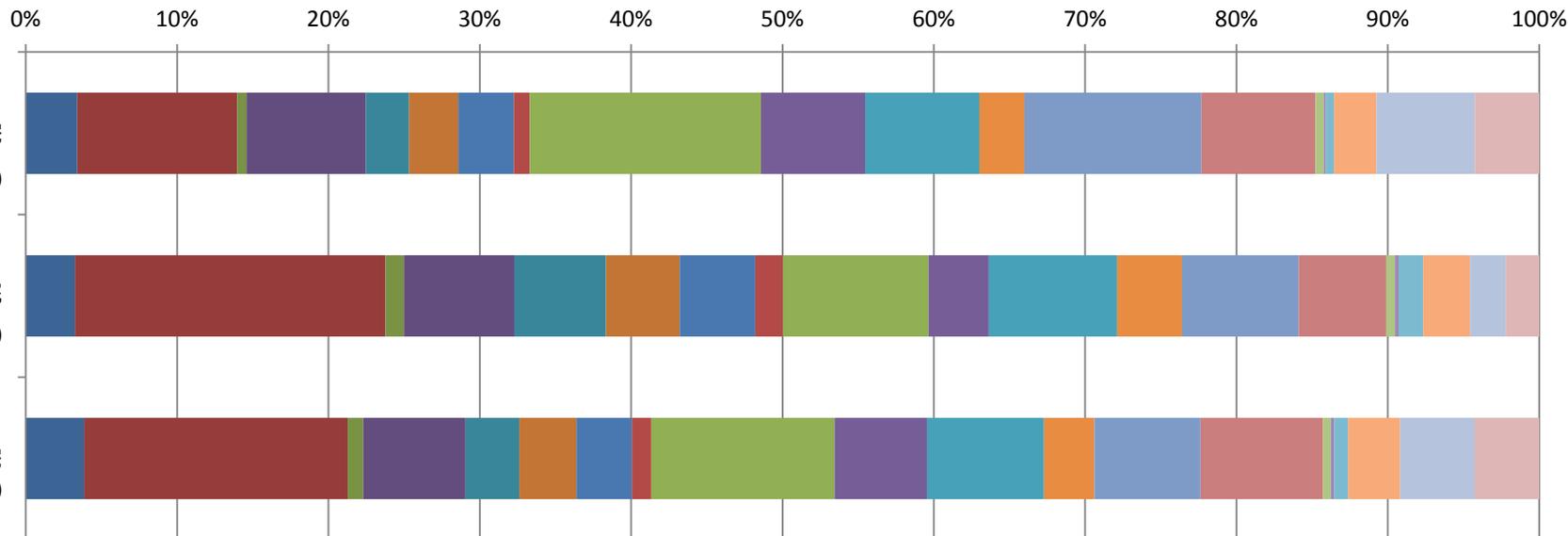
病院類型ごとにみた外来患者の傷病構成(割合)

～ 一般病院・特定機能病院・地域医療支援病院の比較 ～

○ 調査日における一般病院の推計外来患者(971.8千人)を疾病分類別にみると、「循環器系の疾患」が148.6千人で最も多く、次いで「筋骨格系及び結合組織の疾患」が113.6千人、「新生物」が102.7千人となっている。

○ 特定機能病院についてみると、「新生物」が20%程度で一般病院の2倍程度となっており、地域医療支援病院についても、「新生物」の割合が大きくなっている。

- I 感染症及び寄生虫症
- II 新生物
- III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- IV 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳様突起の疾患
- IX 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚及び皮下組織の疾患
- X III 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X IV 腎尿路生殖器系の疾患
- X V 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用

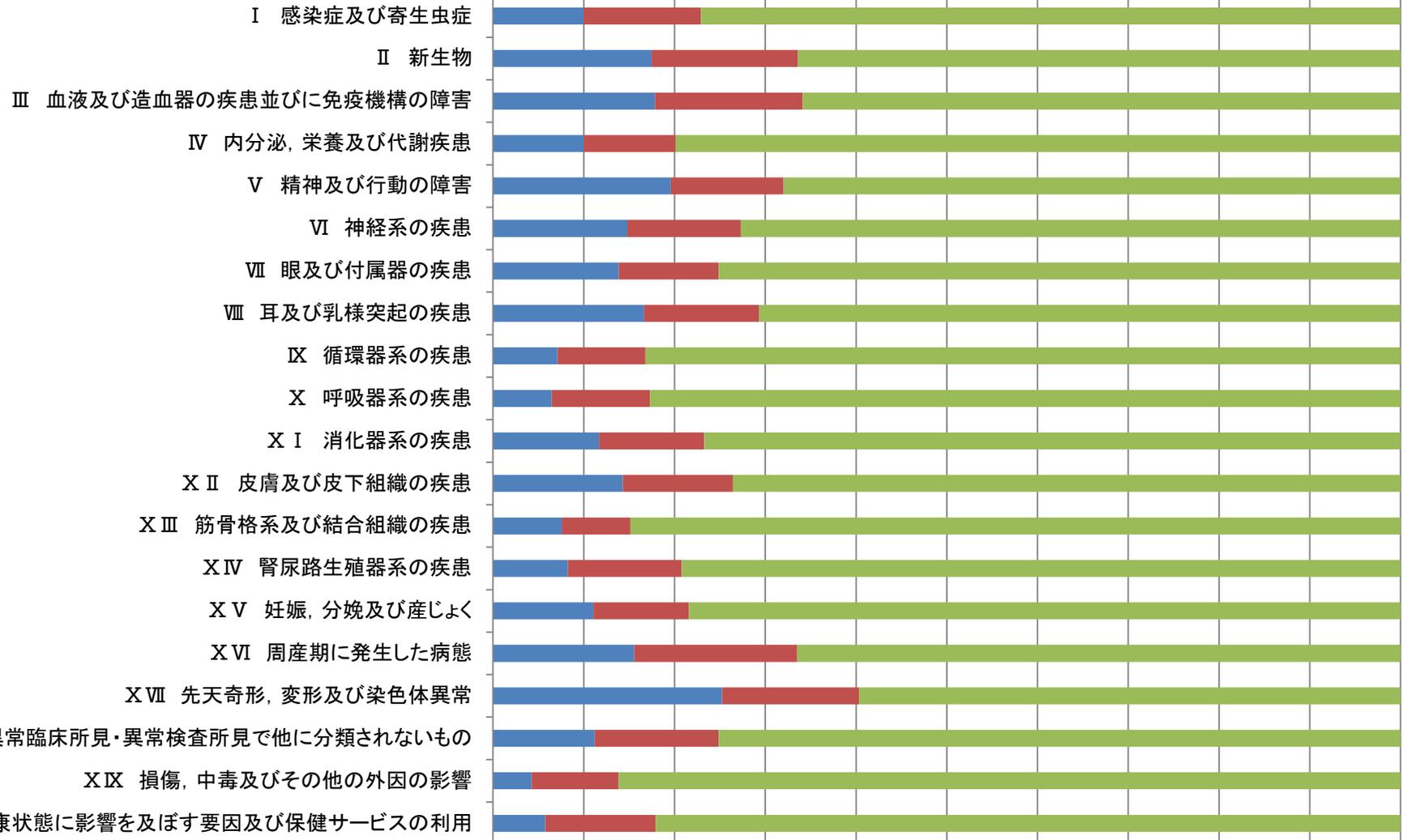


傷病分類ごとにみた外来患者の受診状況(割合)

～ 一般病院・特定機能病院・地域医療支援病院の比較 ～

■ 特定機能病院 ■ 地域医療支援病院 ■ 一般病院(特定機能病院、地域医療支援病院を除く)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

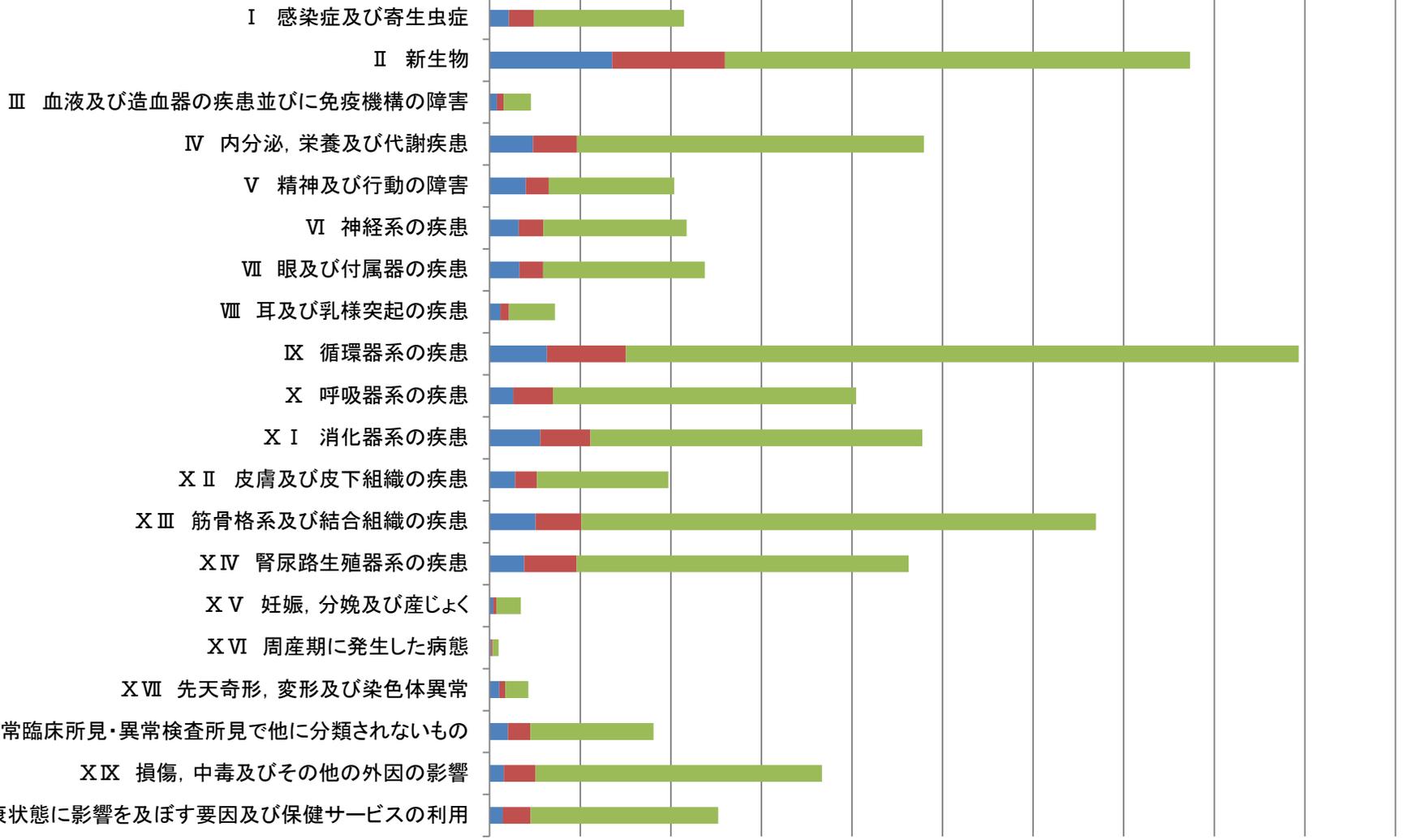


傷病分類ごとにみた外来患者の受診状況(推計外来患者数)

～ 一般病院・特定機能病院・地域医療支援病院の比較 ～

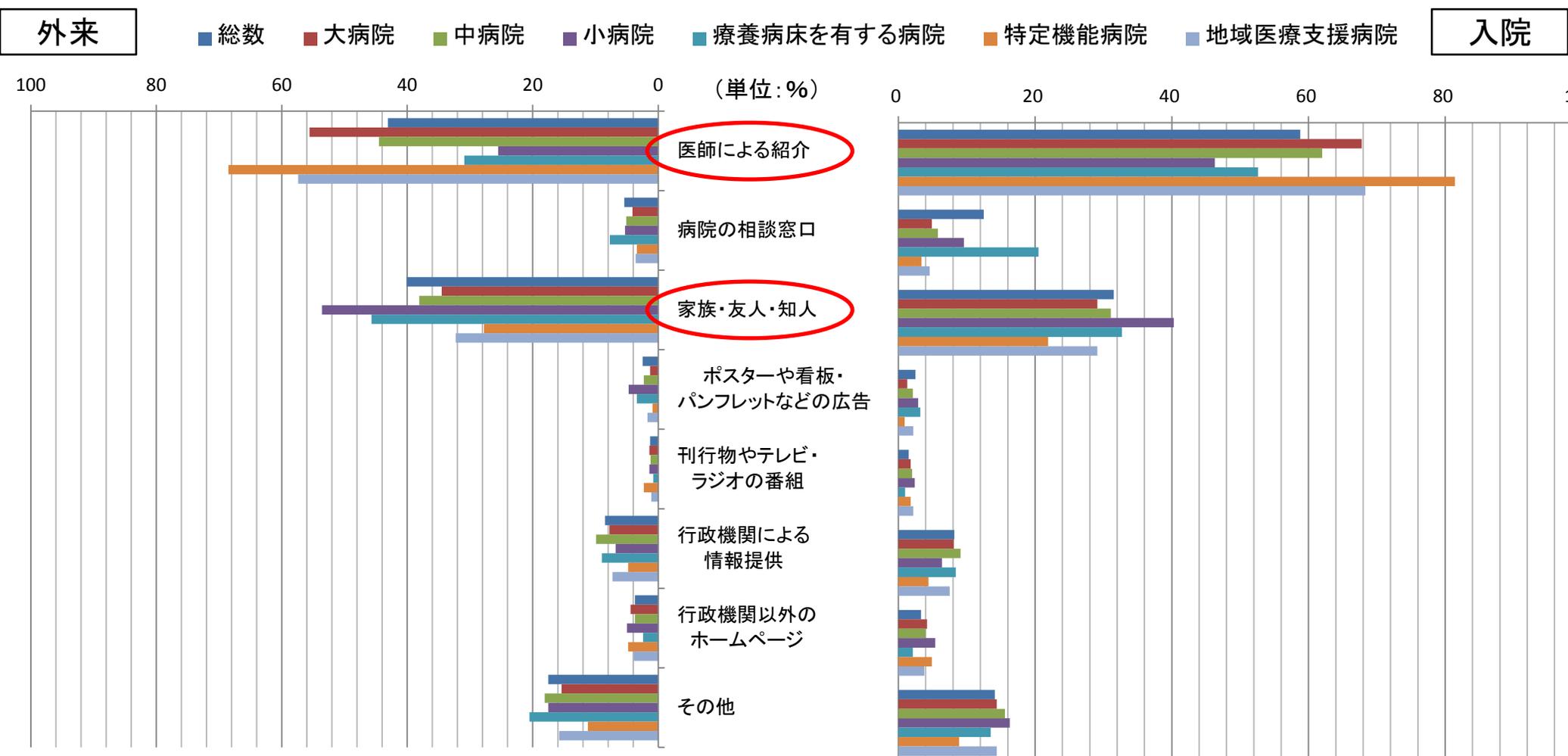
■ 特定機能病院 ■ 地域医療支援病院 ■ 一般病院(特定機能病院、地域医療支援病院を除く) (単位:千人)

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 120.0 140.0 160.0 180.0 200.0



病院を選択する際の情報（複数回答）

- 受診した病院を選択するに当たって参考にした情報があると回答した患者に、どのような情報を参考にしたかを聞いたところ、医師による紹介と回答した者の割合は特定機能病院において最も大きく、また外来患者よりも入院患者の方が大きかった。
- 特定機能病院では、医師による紹介が68.5%、家族等が27.8%。
- 地域医療支援病院では、医師による紹介が57.4%、家族等が32.3%。

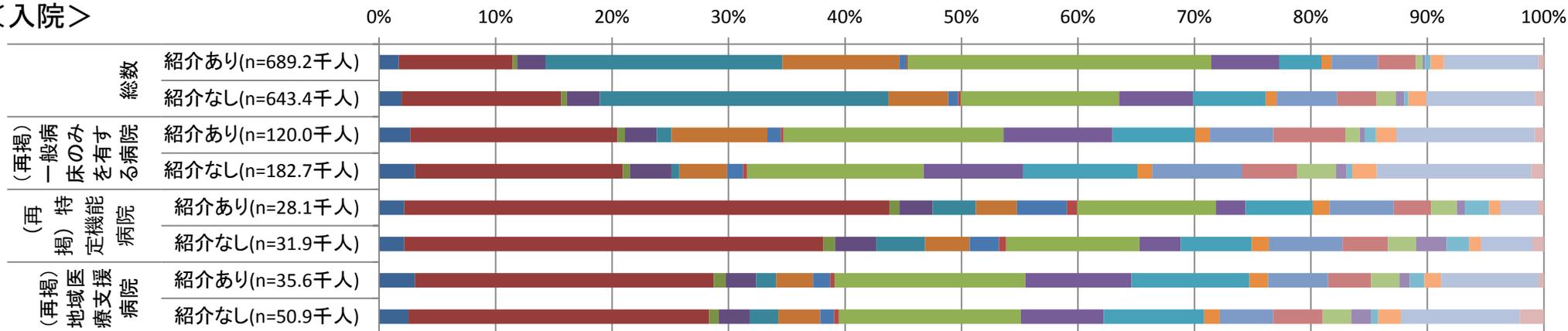


(出典)平成20年受療行動調査に基づき作成

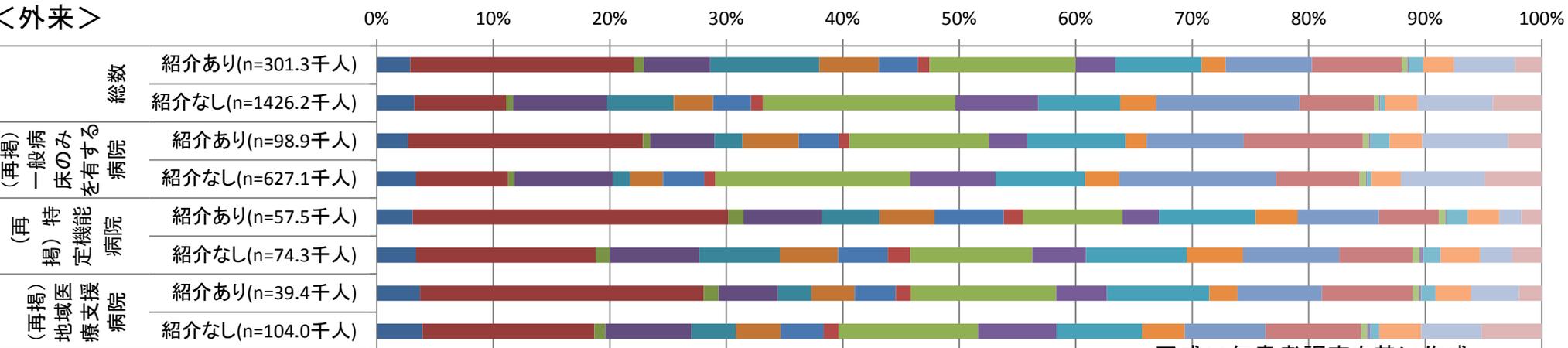
患者の疾病構成(紹介の有無別)

- I 感染症及び寄生虫症
- II 新生物
- III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- IV 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳様突起の疾患
- IX 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚及び皮下組織の疾患
- X III 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X IV 腎尿路生殖器系の疾患
- X V 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響

<入院>



<外来>



病院類型ごとにみた紹介患者の紹介元の構成

○入院患者の紹介元の構成をみたところ、一般病床のみを有する病院では「病院」が51.3%、「一般診療所」が30.4%、特定機能病院では「病院」が63.5%、「一般診療所」が23.8%、地域医療支援病院では「病院」が39.1%、「一般診療所」が52.0%。

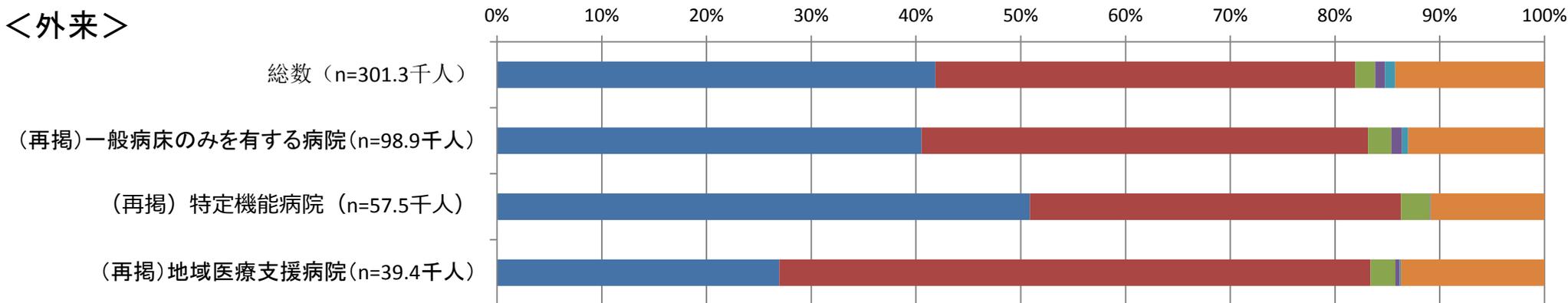
○外来患者の紹介元の構成をみたところ、一般病床のみを有する病院では「病院」が40.5%、「一般診療所」が42.6%、特定機能病院では「病院」が50.9%、「一般診療所」が35.4%、地域医療支援病院では「病院」が26.9%、「一般診療所」が56.4%。

■ 病院から ■ 一般診療所から ■ 歯科診療所から ■ 介護老人保健施設から ■ 介護老人福祉施設から ■ その他から

<入院>



<外来>

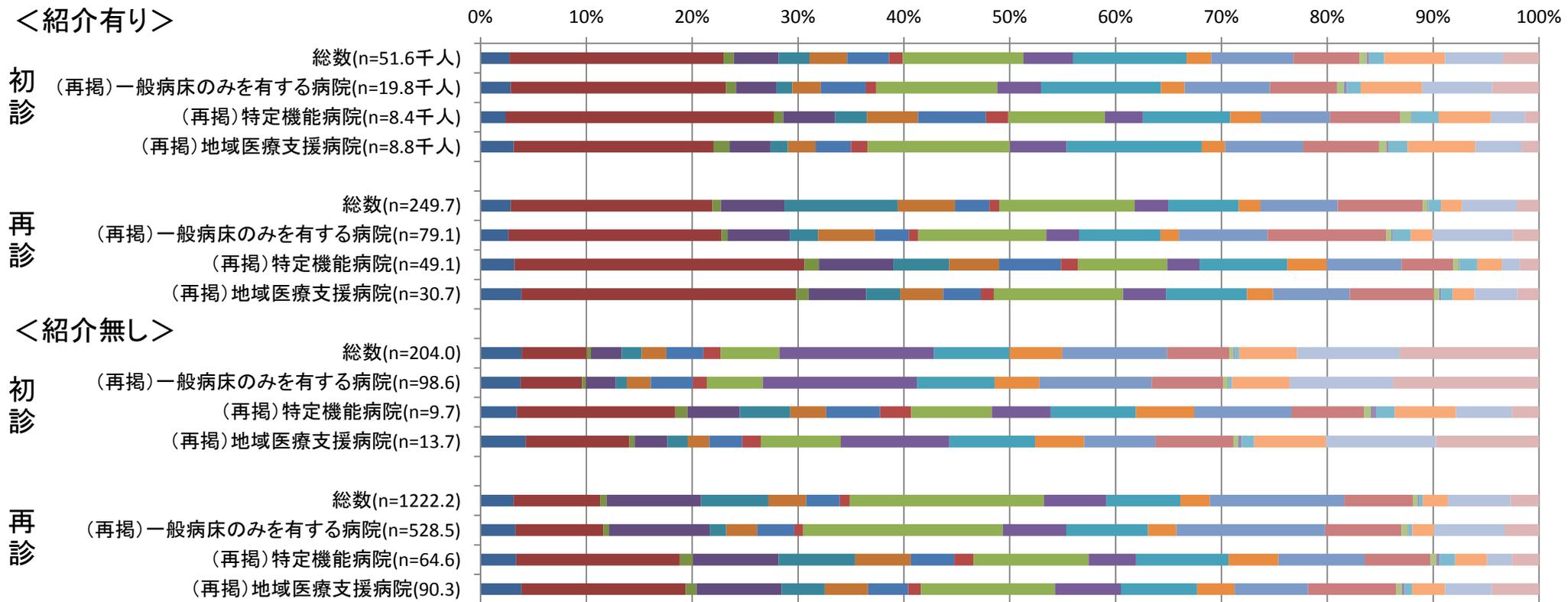


※「その他から」には、医師・歯科医師以外からの紹介、入院当初とは別の傷病による転床などが含まれる。

平成20年患者調査を基に作成

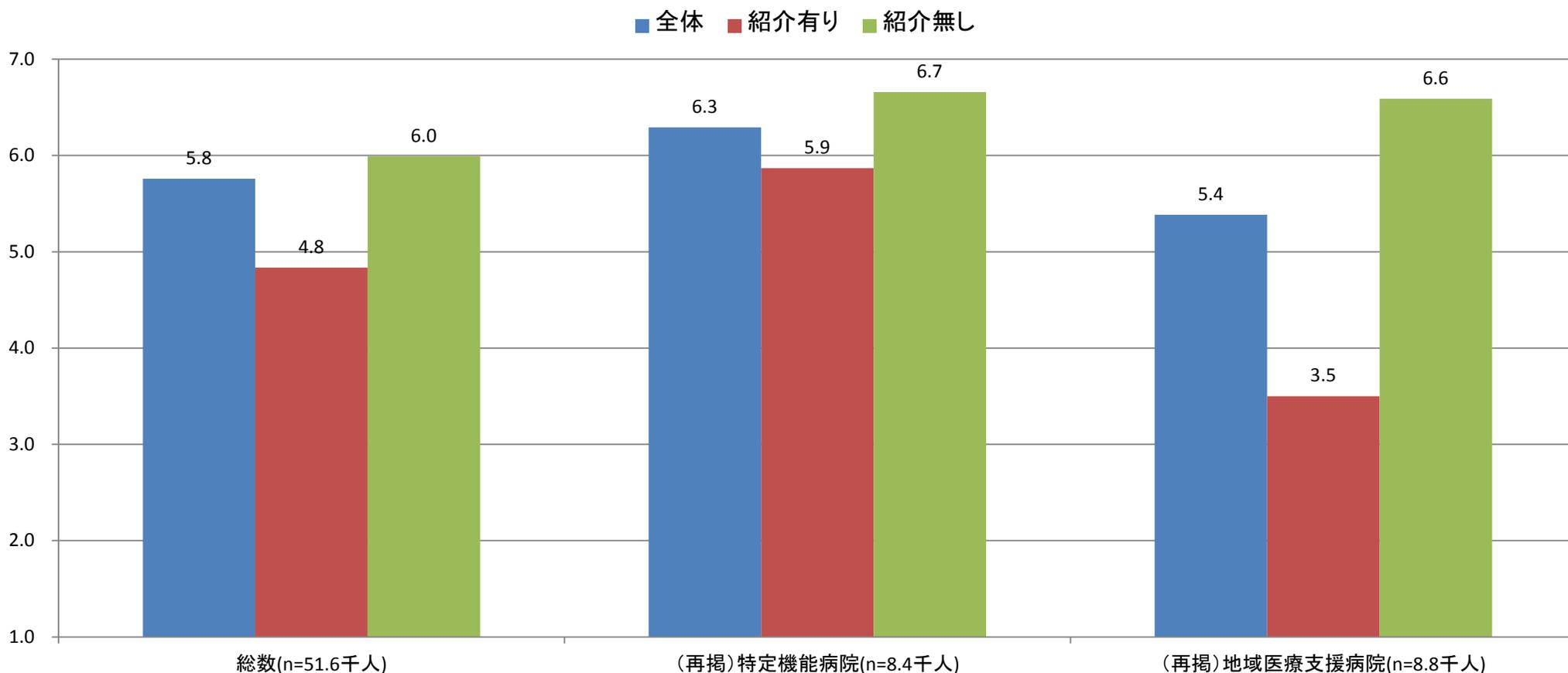
外来患者の疾病構成(紹介の有無、初診・再診別)

- I 感染症及び寄生虫症
- II 新生物
- III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- IV 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳様突起の疾患
- IX 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚及び皮下組織の疾患
- X III 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X IV 腎尿路生殖器系の疾患
- X V 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用



病院類型ごとにみた外来患者の初診・再診比率

- 病院類型ごとに外来患者に対する再診患者の比率をみたところ、病院については全体では5.8倍、紹介患者は4.8倍、非紹介患者は6.0倍。
- 特定機能病院については全体では6.3倍、紹介患者は5.9倍、非紹介患者は6.7倍であり、特に紹介患者について他の類型よりも再診の比率が大きくなっている。
- 地域医療支援病院については全体では5.4倍、紹介患者は3.5倍、非紹介患者は6.6倍であり、特に紹介患者について他の類型よりも再診の比率が小さくなっている。

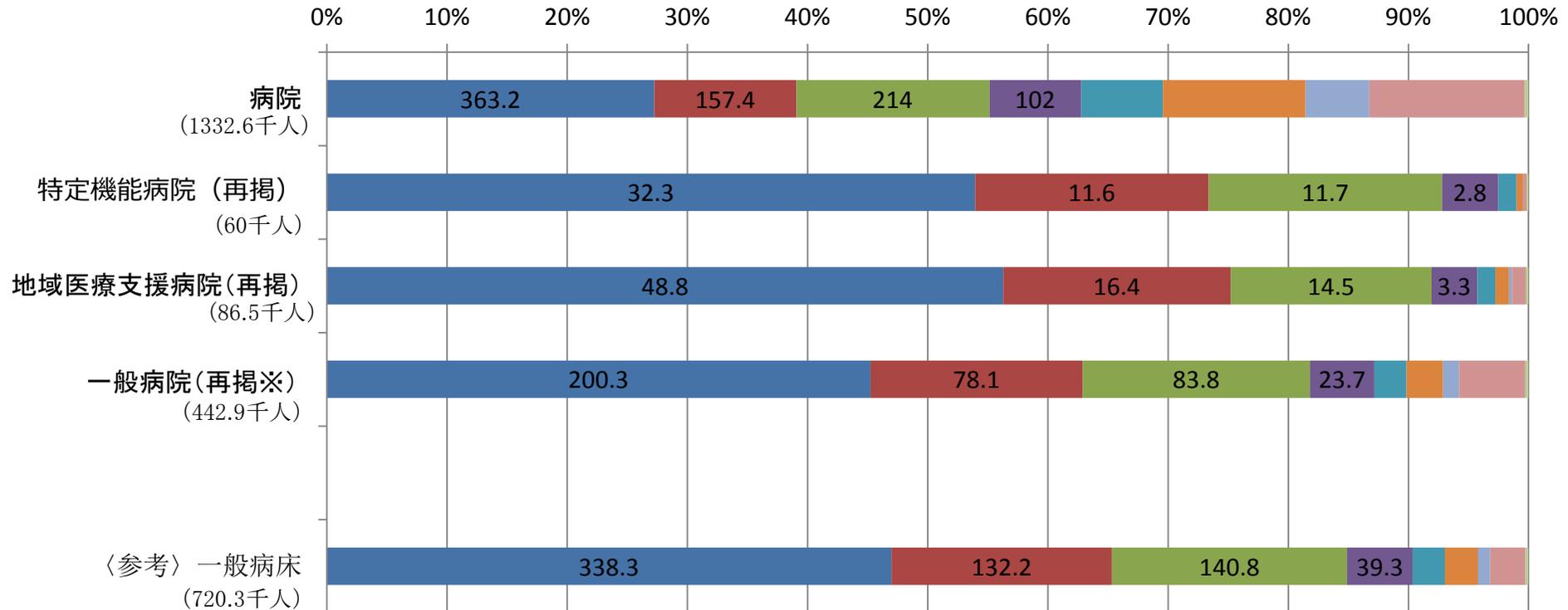


特定機能病院・地域医療支援病院の入院期間別入院患者

- 平成20年患者調査の調査日における推計入院患者数は、特定機能病院が60千人、地域医療支援病院が86.5千人。
- 特定機能病院や地域医療支援病院では、一般病院や一般病床全体に比して、入院から14日以下や1月以内の患者の割合が高くなっている。

■ 0～14日 ■ 15～30日 ■ 1～3月 ■ 3～6月 ■ 6月～1年 ■ 1～3年 ■ 3～5年 ■ 5年以上 ■ 不詳

※ グラフ中の数値は、人数(単位:千人)



※ 「一般病院」は、精神科病院、結核療養所、特定機能病院、地域医療支援病院、療養病床を有する病院のいずれにも当たらない病院。

患者調査(平成20年)に基づき作成

<診療体制について>